

四半期報告書

(第88期第3四半期)

自 平成23年10月1日
至 平成23年12月31日

長野日本無線株式会社

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 3
- (2) 新株予約権等の状況 3
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 3
- (4) ライツプランの内容 3
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 3
- (6) 大株主の状況 3
- (7) 議決権の状況 4

2 役員の状況 4

第4 経理の状況 5

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 6
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 8
 - 四半期連結損益計算書 8
 - 四半期連結包括利益計算書 9

2 その他 14

第二部 提出会社の保証会社等の情報 15

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年2月9日 |
| 【四半期会計期間】 | 第88期第3四半期（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日） |
| 【会社名】 | 長野日本無線株式会社 |
| 【英訳名】 | Nagano Japan Radio Co., Ltd. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 丸山 智司 |
| 【本店の所在の場所】 | 長野県長野市稲里町1163番地 |
| 【電話番号】 | 026（285）1111（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役上席執行役員 総務本部長 佐々木 敦則 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 長野県長野市稲里町1163番地 |
| 【電話番号】 | 026（285）1111（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役上席執行役員 総務本部長 佐々木 敦則 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第87期 第3四半期連結 累計期間 | 第88期 第3四半期連結 累計期間 | 第87期 |
|---------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日 | 自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日 | 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日 |
| 売上高（千円） | 20,344,540 | 19,592,890 | 29,225,623 |
| 経常利益（千円） | 184,988 | 241,974 | 681,008 |
| 四半期（当期）純利益（千円） | 64,080 | 189,521 | 498,736 |
| 四半期包括利益又は包括利益 （千円） | 4,561 | 227,809 | 430,622 |
| 純資産額（千円） | 3,441,684 | 4,095,314 | 3,867,695 |
| 総資産額（千円） | 24,432,656 | 23,357,401 | 22,757,668 |
| 1株当たり四半期（当期）純利益金 額（円） | 1.76 | 5.20 | 13.70 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円） | — | — | — |
| 自己資本比率（％） | 14.1 | 17.5 | 17.0 |

| 回次 | 第87期 第3四半期連結 会計期間 | 第88期 第3四半期連結 会計期間 |
|----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日 | 自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日 |
| 1株当たり四半期純損益（△は損 失）金額（円） | 0.98 | △0.63 |

- （注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第87期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 平成22年6月30日）を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業等のリスクについては、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災に引き続き、欧州諸国の財政不安に端を発した世界的な景気減速、歴史的な円高や株安の長期化、さらにはタイの洪水の影響などから、先行き不透明感を強めつつあります。

このような経営環境のもと、当社グループは上半期に引き続き、グローバル化の深耕、付加価値製品への転換、業務プロセスの改革を積極的に推進しています。

売上高は、情報・通信機器セグメントが堅調に推移したものの、メカトロニクス機器および電源・エネルギー機器セグメントが低迷し、195億9千2百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

利益につきましては、売上高の減少により、営業利益は4億1千7百万円（前年同期比9.3%減）となりました。経常利益は債務圧縮に伴う支払利息の削減などにより、2億4千1百万円（前年同期比30.8%増）となりました。四半期純利益は前年度に特別損失として計上した「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」等が当期はなくなったことから、1億8千9百万円（前年同期比195.8%増）となりました。

セグメント別の売上高および利益は、以下のとおりであります。

なお、セグメント利益は、配賦不能営業費用控除前の営業利益であります。

（情報・通信機器）

公共インフラ設備機器は減少しましたが、業務用端末機器は増加しました。この結果、本セグメント全体の売上高は91億8千1百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

営業利益は4億3千6百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

（メカトロニクス機器）

三次元造形機は増加しましたが、大判複写機や複写機周辺機器などの事務用機器は減少しました。この結果、本セグメント全体の売上高は52億4千1百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

営業利益は3千4百万円（前年同期比53.2%減）となりました。

（電源・エネルギー機器）

ノートパソコン用ACアダプタなどのコンシューマ電源が減少しました。この結果、本セグメント全体の売上高は43億7千6百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

営業損失は1億4千4百万円（前年同期は営業損失1億6千3百万円）となりました。

上記のセグメントに含まれない「その他」の売上高は7億9千2百万円、営業利益は1億7百万円となりました。

(2) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、2億6千3百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 60,000,000 |
| 計 | 60,000,000 |

②【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年2月9日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|-------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 普通株式 | 36,420,538 | 36,420,538 | 東京証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数 1,000株 |
| 計 | 36,420,538 | 36,420,538 | — | — |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|----------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成23年10月1日～ 平成23年12月31日 | — | 36,420,538 | — | 3,649,580 | — | 2,840,440 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成23年12月31日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | — | — | — |
| 議決権制限株式（自己株式等） | — | — | — |
| 議決権制限株式（その他） | — | — | — |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 9,000 | — | — |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 36,402,000 | 36,402 | — |
| 単元未満株式 | 普通株式 9,538 | — | — |
| 発行済株式総数 | 36,420,538 | — | — |
| 総株主の議決権 | — | 36,402 | — |

② 【自己株式等】

平成23年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 長野日本無線株式会社 | 長野県長野市稲里町1163番地 | 9,000 | — | 9,000 | 0.02 |
| 計 | — | 9,000 | — | 9,000 | 0.02 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）および第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,323,340 | 1,264,603 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,886,556 | 7,236,811 |
| 商品及び製品 | 467,485 | 784,079 |
| 仕掛品 | 4,700,857 | 6,254,613 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,018,557 | 1,022,645 |
| 繰延税金資産 | 300,834 | 302,745 |
| その他 | 222,117 | 640,450 |
| 貸倒引当金 | △29,882 | △24,594 |
| 流動資産合計 | 16,889,866 | 17,481,354 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,458,627 | 1,403,850 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 143,163 | 264,559 |
| 土地 | 3,432,429 | 3,432,429 |
| リース資産（純額） | 290,457 | 239,837 |
| その他（純額） | 64,327 | 77,011 |
| 有形固定資産合計 | 5,389,004 | 5,417,687 |
| 無形固定資産 | 41,345 | 55,544 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 207,766 | 175,438 |
| 繰延税金資産 | 21,791 | 21,352 |
| その他 | 234,035 | 226,666 |
| 貸倒引当金 | △26,142 | △20,642 |
| 投資その他の資産合計 | 437,451 | 402,815 |
| 固定資産合計 | 5,867,801 | 5,876,047 |
| 資産合計 | 22,757,668 | 23,357,401 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,644,641 | 6,890,768 |
| 短期借入金 | 3,838,000 | 4,500,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,466,932 | 1,760,552 |
| 未払金 | 258,444 | 300,289 |
| 未払費用 | 244,630 | 389,459 |
| 未払法人税等 | 91,867 | 33,844 |
| 製品保証引当金 | 13,448 | 13,448 |
| その他 | 382,331 | 528,531 |
| 流動負債合計 | 12,940,296 | 14,416,892 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,515,083 | 3,475,209 |
| 繰延税金負債 | 19,808 | 7,472 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 613,793 | 537,019 |
| 退職給付引当金 | 445,329 | 469,346 |
| 役員退職慰労引当金 | 12,075 | 12,361 |
| 環境対策引当金 | 16,964 | 16,964 |
| 資産除去債務 | 82,337 | 83,679 |
| その他 | 244,284 | 243,141 |
| 固定負債合計 | 5,949,677 | 4,845,194 |
| 負債合計 | 18,889,973 | 19,262,086 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,649,580 | 3,649,580 |
| 資本剰余金 | 2,840,440 | 2,840,440 |
| 利益剰余金 | △3,388,299 | △3,198,777 |
| 自己株式 | △1,483 | △1,673 |
| 株主資本合計 | 3,100,237 | 3,289,568 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,064 | 6,521 |
| 土地再評価差額金 | 904,069 | 980,842 |
| 為替換算調整勘定 | △157,675 | △181,618 |
| その他の包括利益累計額合計 | 767,458 | 805,745 |
| 純資産合計 | 3,867,695 | 4,095,314 |
| 負債純資産合計 | 22,757,668 | 23,357,401 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 20,344,540 | 19,592,890 |
| 売上原価 | 17,858,585 | 17,199,723 |
| 売上総利益 | 2,485,955 | 2,393,166 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造及び発送費 | 206,515 | 196,222 |
| 給料 | 1,043,502 | 1,027,397 |
| 退職給付費用 | 48,701 | 48,416 |
| その他 | 726,619 | 703,428 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,025,339 | 1,975,465 |
| 営業利益 | 460,615 | 417,701 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 475 | 320 |
| 受取配当金 | 3,184 | 3,262 |
| 受取賃貸料 | 6,469 | 5,858 |
| 助成金収入 | 30,854 | 2,508 |
| その他 | ※1 25,533 | 16,712 |
| 営業外収益合計 | 66,517 | 28,661 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 201,728 | 131,785 |
| 売上債権売却損 | 25,907 | 29,728 |
| 為替差損 | 95,161 | 37,063 |
| その他 | 19,347 | 5,810 |
| 営業外費用合計 | 342,144 | 204,387 |
| 経常利益 | 184,988 | 241,974 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 6,064 |
| 貸倒引当金戻入額 | 18,273 | — |
| 特別利益合計 | 18,273 | 6,064 |
| 特別損失 | | |
| 環境対策引当金繰入額 | 16,964 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 66,011 | — |
| 特別損失合計 | 82,975 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 120,287 | 248,038 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 70,592 | 61,594 |
| 法人税等調整額 | △14,385 | △3,077 |
| 法人税等合計 | 56,207 | 58,516 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 64,080 | 189,521 |
| 四半期純利益 | 64,080 | 189,521 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 64,080 | 189,521 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △14,078 | △14,542 |
| 土地再評価差額金 | — | 76,773 |
| 為替換算調整勘定 | △45,439 | △23,942 |
| その他の包括利益合計 | △59,518 | 38,287 |
| 四半期包括利益 | 4,561 | 227,809 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,561 | 227,809 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年12月31日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引き下げおよび復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年3月31日まで 40.4%

平成24年4月1日から平成27年3月31日まで 37.8%

平成27年4月1日以降 35.4%

この税率変更により、繰延税金資産の金額は2百万円、繰延税金負債(再評価に係る繰延税金負債を含む)の金額は7千7百万円減少し、法人税等調整額は2百万円増加しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1 受取手形割引高は、200,000千円であります。 | 1 受取手形割引高は、275,999千円であります。 |

(四半期連結損益計算書関係)

| 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|--|--|
| ※1 営業外収益のその他には、和解金16,282千円が含まれております。 | ————— |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 273,194千円 | 279,111千円 |

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

配当に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|-------------|-------------------|--------------------|------------|------------|------------|-----------------------|
| | 情報・通 信機器 | メカトロ ニクス機 器 | 電源・エ ネルギー 機器 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 8,550,332 | 5,627,910 | 5,349,101 | 817,195 | 20,344,540 | — | 20,344,540 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 14 | 3,242 | 45,196 | 2,467,570 | 2,516,024 | △2,516,024 | — |
| 計 | 8,550,347 | 5,631,153 | 5,394,298 | 3,284,766 | 22,860,565 | △2,516,024 | 20,344,540 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 483,867 | 73,861 | △163,255 | 112,941 | 507,415 | △46,799 | 460,615 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話機器の販売事業およびソフトウェア開発や製造の請負事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額
の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 507,415 |
| 全社費用 | △83,685 |
| セグメント間取引消去 | 66,150 |
| その他 | △29,265 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 460,615 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|-------------|-------------------|--------------------|------------|------------|------------|-----------------------|
| | 情報・通 信機器 | メカトロ ニクス機 器 | 電源・エ ネルギー 機器 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 9,181,584 | 5,241,917 | 4,376,551 | 792,836 | 19,592,890 | — | 19,592,890 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 373 | 2,299 | 4,081 | 3,146,731 | 3,153,485 | △3,153,485 | — |
| 計 | 9,181,958 | 5,244,216 | 4,380,632 | 3,939,567 | 22,746,375 | △3,153,485 | 19,592,890 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 436,916 | 34,598 | △144,376 | 107,933 | 435,071 | △17,370 | 417,701 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話機器の販売事業およびソフトウェア開発や製造の請負事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 435,071 |
| 全社費用 | △52,664 |
| セグメント間取引消去 | 70,852 |
| その他 | △35,557 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 417,701 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日） | 当第3四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日） |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 1円76銭 | 5円20銭 |
| （算定上の基礎） | | |
| 四半期純利益金額（千円） | 64,080 | 189,521 |
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | — | — |
| 普通株式に係る四半期純利益金額（千円） | 64,080 | 189,521 |
| 普通株式の期中平均株式数（千株） | 36,413 | 36,411 |

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月3日

長野日本無線株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 神代 勲 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小松 聡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている長野日本無線株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、長野日本無線株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期報告書に添付する形で別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。